

平成31年度 学校評価表 東広島市立中央中学校

教育目標

和心、礼節を大切に、心やさしくまじめに生きる生徒の育成

評価計画							
項目	重点	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	評価指標	目標値	担当者
生徒の学力を向上させる学校	1	基礎・基本の確実な定着を図り、自ら学び、確かな学力を身に付ける生徒を育成する。	①「基礎・基本」の確かな定着を図る。	授業規律の徹底(めあて・振り返り)と生徒指導の三機能を取り入れた授業改善を図る。	(1)「授業は分かりやすい」という生徒の割合	90%	山田
			②主体的に学ぶ生徒を育成する。	目標をもって学習に取り組ませ、基礎・基本の徹底を図り、進んで学習に取り組ませる。	(2)「自分で目標を立てて学習に取り組んでいる」「進んで自分の意見や考えを出している」という生徒の割合	85%	梅原
			③家庭学習の習慣を確立する。	生活ノートを活用した家庭学習に取り組ませる。	(3)生活ノートを活用して、自主学習をした生徒の割合	90%	梅原
			④読書活動の推進を図る。	図書便り等、図書室利用の広報活動を積極的に行い、授業でも図書室を活用し、読書活動を推進する。	(4)「1ヶ月に1冊以上読書する」という生徒の割合	85%	今田
生徒が主体的に活動する学校	2	豊かな心と健やかな体を育て、主体的に活動する生徒を育み、問題行動・不登校の未然防止に努める。	⑤和心・礼節を育成するために、4つの取組の充実を図る。	生徒会を中心にリーダーを育成し、生徒が中心となって4つの取組を徹底させる。	(5)「4つの取組について主体的に取り組める」という生徒の割合	85%	中西
			⑥地域貢献に向けて、主体的にボランティア活動に参加する。	長期休業中に、部活ボランティアを計画し、取り組ませる。	(6)「主体的にボランティア活動に取り組める」という生徒の割合	85%	中西
			⑦生徒による主体的な活動を活性化させ、自己指導能力の育成を図る。	生徒が自ら考えて活動できる場を設定し、生徒の思いを反映させながら、生徒会行事を運営させ、評価する。	(7)「学校行事・生徒会行事に満足している」という生徒の割合	90%	中村
				部活集合で、各部活動の目標と課題を明確にし、主体的に活動できるようにする。	(8)「部活動に満足している」という生徒の割合	90%	中西
⑧問題行動・不登校の未然防止や解決に向け、組織的な対応を行う。	Q-Uやいじめアンケート後の教育相談体制を充実させ、問題行動・いじめの未然防止を図る。	(9)いじめの発生件数	前年比80%減	中西			
	組織的な対応を行うために、関係機関との連携を充実させる。	(10)不登校生徒の件数	15人以下	山岡			
信頼される学校	3	情報公開と保護者・地域に信頼される開かれた学校をつくる。	⑨教育公務員としての自覚と、学校運営への参画意識を持つ教職員を育成する。	法規・法令に基づいた適正管理を行い、服務規律研修の充実を図る。	(11)不祥事防止項目(情報管理・服務関係・体罰セクハラ・交通ルール)の定期チェックと体験的な研修の充実	100%	芻本
				学校組織のスリム化と明確化(業務改善)	(12)在校時間の縮減	前年比80%減	芻本
			⑩保護者・地域への情報発信を行う。	「ホームページ」「学校だより」「学年通信」「保健だより」を保護者等に発信する。	(13)「学年通信、学校便り、HP等で学校の様子がよくわかる。」と感じている保護者の割合	90%	芻本